

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

園名	志村さかした保育園
日時	令和7年3月7・17・25・27日

1. 活動テーマ

<テーマ>

5歳児…体操教室（跳び箱、鉄棒、ホッケー、爆弾ゲーム）

<テーマの設定理由>

- ・思い切り身体を動かすことの心地よさを知る。
- ・今年度の体操教室の総まとめ。

2. 活動スケジュール

- ・準備体操
- ・跳び箱（6段、7段、8段） ・鉄棒
- ・ホッケー ・爆弾ゲーム

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- ・跳び箱 ・鉄棒 ・マット ・ウレタンの長いす
- ・ホッケー ・ボール

4. 探究活動の実践

<活動内容>

- ・ホールを大きくランニング
- ・2人一組になって「なべなべそこぬけ」と柔軟体操をしてから最後にブリッジ
- ・跳び箱と鉄棒を用意する。跳び箱は6段から順番に段を上げていく
- ・鉄棒は連続逆上がりやコウモリなど自分の好きな技に挑戦する
- ・ホッケーは、最初講師対4人1チームの子ども達と対戦する
- ・子どもたち同士で対戦する。
- ・勝ち残りで最後に残ったチームがチャンピオン
- ・爆弾ゲームは、ボールを当てられたら負け、席に戻る
- ・最後に残った子がチャンピオン

<活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育士との関わり>



- ・ブリッジでは、どれだけ高く上がるか友達と向かい合って競っていました。
- ・跳び箱は8段を跳べる子が多くなってきました。
- ・ホッケーは子ども達が大好きなゲームの一つです。強いチームを作るために、先頭からの人数を数えながら席を移動したり、作戦を立てたりしていました。
- ・爆弾ゲームは個人戦なので、ドッジボールでは控えでパスを回したりしている子も、今日は闘争心を前面に出して相手めがけてボールを投げていました。「いくぞ!!」と声も強くなり、当てられると「まけた～」と心から悔しがっていました。

5. 振り返り

<振り返りによって得た保育士の気づき>

- ・今年度のまとめなので、子ども達が好きな遊びを取り入れました。ルールやゲームの構成をしっかりと把握しているので、子ども達で話し合いながら進行で来ていた。
- ・主に女の子が積極的にリードし指示をしながらゲームを楽しんでいる様子が見られた。
- ・ドッジボールでは友達にボールを譲ったりパスをしている子が、爆弾ゲームでは生き生きとボールを投げ当てている様子が見られ、ドッジボールでも本当は投げたいのだが我慢して譲っていることがあると考えられる。